

総務文教常任委員会会議記録

- | | | |
|---|------|--|
| 1 | 日 時 | 令和7年8月7日(木)午後1時25分から午後2時45分まで |
| 2 | 場 所 | 第2委員会室 |
| 3 | 出席委員 | 小野塚委員長、木内副委員長、齋藤智、茂木、桑原各委員 |
| 4 | 欠席者 | 戸部委員 |
| 5 | 説明者 | 青柳総務部長、永井秘書課長、織田澤総務課長、角田企画政策課長
星野教育部長、栗原教育総務課長 |
| 6 | 事務局 | 武井事務局長、峰岸次長兼庶務係長 |
| 7 | 傍聴者 | 新聞記者 1名 |
| 8 | 議 事 | (1) 教育部各課の所管事項報告・調査事項説明
(2) 総務部各課の所管事項報告・調査事項説明
(3) 総務部及び教育部所管事項に関する調査事項検討及び意見交換
(4) 今後の日程について
(5) その他 |

8 会議の概要

(1) 教育部各課の所管事項報告・調査事項説明

○委員長 それでは、次第(1)教育部各課の所管事項報告・調査事項説明に入る。

教育総務課の所管に係る事項について説明願う。教育総務課長。

(栗原教育総務課長 説明)

ア 教育総務課

・調査事項

1 沼田市新たな学校づくり実施計画の進捗状況について

○教育総務課長 それでは教育総務課の調査事項について御説明させていただきます。

調査事項(1)「沼田市新たな学校づくり実施計画の進捗状況について」であるが、資料2ページを御覧いただきたい。前回報告以降の進捗状況について御説明申し上げる。一番左、白沢多那の統合についてであるが、7月16日に第2回準備委員会を開催し、各専門部会からの報告を受け、統合に向けた調整方針等を決定していただいた。今後、閉校記念誌の内容や式典等の中身について、学校を中心として検討が進められる予定である。また、準備委員会だよりを発行し、市民周知に努めたいと考えている。

2列目、池田薄根地区に関しては、学校名をどのようにするか、これを最優先で方向づけする必要があることから、所管する総務部会を7月17日に開催し、協議検討いただいた。結果として、池田地区と薄根地区へ校名変更に関するアンケート調査を行うこととなり、項目の内容等を検討していただくため、8月8日に第2回総務部会を開催し、協議していただく予定となっている。

3列目、沼田中学校に関する事項を新たに設けた。実施計画では、令和9年度に沼田東中学校が先行して沼田中学校と統合する計画であるが、令和12年度の沼田南中学校及び沼

田西中学校との統合も見据え、区長会沼田支部の区長をはじめ、利南地区振興協議会役員、区長会川田支部の区長に対し、現在の進捗状況や今後の予定等について情報提供を行う予定である。

4 列目、制服統一化に関しては、7月28日にマスターメーカーを選定する審査委員会を開催した。参加希望があった3社からのプレゼンテーションを受け、審査委員の採点結果に基づき、マスターメーカー1社を選定したところである。今後、マスターメーカーの支援をいただきながら、保護者や児童生徒からも意見を聴取し、統一制服の導入に向けた検討を進める予定である。

教育総務課所管に係る調査事項の説明は以上である。

○委員長 説明が終わった。質疑を行う。調査事項1「沼田市新たな学校づくり実施計画の進捗状況について」質疑はあるか。私からいいか。

○副委員長 進行を交代する。委員長。

○委員長 制服の統一化についてであるが、今回の白沢多那の統合の段階で、統一化されることはないかお聞かせいただきたい。

○教育総務課長 白沢と多那の中学校の統合については、令和8年度であり、そこについては間に合わない。令和9年度のほかの中学校の統合に間に合わせる予定で現在進めているところである。

○委員長 了解した。ほかに。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長 なければ以上で教育総務課を終了する。

(4) 今後の日程について

次に(4)今後の日程について、ア次回の委員会について事務局説明願う。

(事務局書記 説明)

○委員長 説明が終わった。次回の委員会については、事務局からの提案の説明のとおりでよろしいか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○委員長 それではそのように決定する。

以上で教育部各課の所管事項報告及び調査事項説明を終了する。

(教育部 退室)

(2) 総務部各課の所管事項報告・調査事項説明

○委員長 それでは(2)総務部各課の所管事項報告調査事項説明に入る。最初に秘書課の所管に係る事項について秘書課長報告願う。秘書課長。

(永井秘書課長 報告)

ア 秘書課
・報告事項

- 1 「市政懇談会」実施結果の報告について
- 2 「ドイツフュッセン市姉妹都市提携30周年記念事業」公式訪問について

○秘書課長 報告前に8月3日に開催された沼田まつり歓迎交流会では数多くの議員の皆様に御出席いただき、御礼申し上げます。それでは、秘書課の所管事項について御報告申し上げます。報告事項1「市政懇談会」実施結果の報告について」であるが、市政懇談会については、4月21日から5月22日までの期間で全8回、7会場で開催し、延べ115名の方に御参加をいただいた。懇談会では、初めに、市長から今後の市政方針と題して、今年度当初予算の概要、企業誘致、森林文化都市アクションプランなどについて説明し、参加者の皆様から質問・意見等を伺った。8回開催された懇談会では、計95件の質問・意見等をいただいた。主な内容として、工場適地整備後の企業誘致に関すること、小中学校の統廃合に関すること、環境政策に関すること、移住政策に関することなど多岐にわたり、数多くの貴重な御意見をいただくことができたと考えている。いただいた意見等については、担当課と情報共有し、また、意見・回答の一部については、広報ぬまた8月号及び市ホームページにおいて公開をしている。

次に、報告事項2「ドイツフュッセン市姉妹都市提携30周年記念訪問事業」公式訪問について」であるが、9月22日月曜日から27日土曜日までの行程で姉妹都市であるフュッセン市を公式訪問する。訪問者として、星野市長、桑原議長、私のほか、市民訪問団16名の方の参加を予定している。ドイツフュッセン市との姉妹都市提携30周年記念事業として、両市のさらなる親睦と友好を深めるため、市長会談を行うほか、フュッセン市とこちらの市民訪問団を交えた交流会の実施なども予定をしている。

秘書課からの報告は以上である。

○委員長 説明が終わった。質疑を行う。まず、報告事項1「市政懇談会」実施結果の報告について」質疑はあるか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長 次に報告事項2「ドイツフュッセン市姉妹都市提携30周年記念事業」公式訪問について」質疑はあるか。

○副委員長 ドイツフュッセン市姉妹都市提携30周年記念事業についてであるが、両市長の会談が行われるということであるが、さらなる親睦と友好を深めるため、こちらから提案など、何か準備している内容があればお聞かせいただきたい。

○秘書課長 当日は公式のセレモニーのほかに市長会談を行う予定であるが、現時点で具体的な内容というものはないが、今回市民訪問団も一緒に訪問するので、文化的な交流などを通じて、今後いろいろと研究をさせていただきたいと思っている。

○委員長 ほかに。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長 なければ以上で秘書課を終了する。

次に、企画政策課の所管に係る事項について説明願う。企画政策課長。

(角田企画政策課長 説明)

ウ 企画政策課

・調査事項

1 沼田城跡調査総括報告書の結果を踏まえた全庁的検討プロジェクトの検討状況について

○企画政策課長 それでは企画政策課の調査事項について御説明申し上げます。調査事項1「沼田城跡調査総括報告書の結果を踏まえた全庁的検討プロジェクトの検討状況について」であるが、平成30年度から令和5年度まで実施した沼田市史跡沼田城跡調査保存整備事業の成果を取りまとめた沼田城跡調査総括報告書が完成した。この完成を受けて議員各位への概要報告が行われたところである。本年3月市議会定例会において採択された沼田城再建の早期実現を求める機運醸成を踏まえた全庁的検討プロジェクトの設置を要望する請願については、採択結果を重く受け止めている。本請願における全庁的検討プロジェクトの設置に当たっては、その必要性や設置の時期、構成も含め、全庁的な意思決定を経た後に設置されるものと認識しているので、まずは報告書の内容を十分に精査した上で対応を検討する必要があると考えている。

企画政策課からは以上である。

○委員長 説明が終わった。質疑を行う。調査事項1「沼田城跡調査総括報告書の結果を踏まえた全庁的検討プロジェクトの検討状況について」質疑はあるか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長 なければ以上で企画政策課を終了する。

(4) 今後の日程について

○委員長 次に(4)今後の日程について、次回の委員会について事務局説明願う。

(事務局書記 説明)

○委員長 説明が終わった。次回の委員会については、事務局からの説明のとおりでよいか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○委員長 それではそのように決定する。

以上で総務部各課の所管事項報告及び調査事項説明を終了する。

(総務部 退室)

(3) 総務部及び教育部所管事項に関する調査事項検討及び意見交換

○委員長 それでは、次第(3)総務部及び教育部所管事項に関する調査事項検討及び意

見交換に入る前に、先月の常任委員会の際に触れた議会全体で人口減少対策に取り組んでいきたい旨の説明をした。7月に行われた3常任委員長連絡会議の意見交換の中で、この具体的な内容への説明について、分かりやすい方法で各委員へ伝える必要があるという意見があったことから、考え方の案を本日書面にして皆様にお配りした。事務局から朗読させ、説明に代えたいと思う。

(事務局 朗読)

○委員長 朗読が終わった。この後、各常任委員から意見がなければ、今月21日に開催する議会運営委員会において決定していく予定となっている。なお、常任委員会における調査事項としては、例月の調査事項である各委員が現在必要としている調査事項のほかに、人口減少対策に特化した、つまり来年策定を予定している沼田市第七次総合計画の特別委員会の準備として調査研究を行っていく内容となっている。この2つ、通常の調査と少し先の未来の提案について調査を行っていくことに対して、皆さんの御意見を伺いたい。

本日は、活発な質疑がされなかった気がするので、活発になるようにお願いしたい。まずは例月の調査事項をお持ちの方がいたらお願いしたい。齋藤委員。

○齋藤委員 数ヶ月前に行った職員採用について、今年は採用方法を変えたという報告を受けたので、それによってどのようになったのかお伺いしたい。

○委員長 職員採用について追加など、補足することがあるか。職員の適正配置ということで聞いたほうがいいのか、それとも採用試験に絞ったほうがいいのか。

○茂木委員 今年、採用試験を早めに1回やっている。あともう1回あると思う。

○委員長 来月は議会中になるので、請願がなければ通常は行わない。10月の報告になるということ承知しておいてもらいたい。9月にあれば9月の時点での報告を。10月であれば、その状況をお願いしたい。ほかに。

○茂木委員 県の職業訓練校の跡地について、プロポーザルが行われたと思うのだが、その結果について説明をいただきたい。どこに決まって、どのようになったかについて教えていただきたい。

○委員長 自分のほうからいいか。教育部であるが、毎月新たな学校づくりの実施計画について伺っているが、通学路の検討がどうなっているのかを追加して伺いたい。

○桑原委員 それについては、4.5キロ以上はバスで決まっていると思うが。そういうことを聞くということか。

○委員長 そうであるが、今回多那から全員白沢に行くときに、バスの本数であるとか、運転手の確保であるとか、この後、ほかの地区が出てきたときの懸念はないのか確認していきたいと思っている。

○副委員長 通学方法についてということか。

○委員長 スクールバスとは言わずに通学方法ということで。

○副委員長 バスについては、シミュレーションを行って配置していくことを前に伺ったが、それがどこまで進んでいるかを教えてもらいたい。

○委員長 ほかに。

○副委員長 スポーツ振興課の関係であるが、社会体育施設について、野球のグラウンドであったり、テニスコートであったり様々あると思うが、予約の方法について伺いたい。市民優先ではあると思うが、市外の方が予約したいときにどのような配慮がされるのか。

遠方の方が予約することだけのために沼田に来ることは困難であり、その辺の研究をしてもらいたいと思う。これは経済に関わるお話になるかと思うが、テニスの合宿を希望する県外の団体が宿泊先を予約したが、テニスコートを手配するに当たり愛知県の方であることからわざわざ市民体育館まで出向いて予約をすることが叶わずにテニスコートが使えず、結果的に大口の宿泊を予定していた宿泊施設がキャンセルになったということである。当然市民優先の施設であるが、市外の方でも空き状況によっては予約できるような、現場に来なくても予約できるようなシステムが考えられればありがたいと思う。このことについて改善していただきたいと思っている。予約方法についてということで聞くことが可能か。ネット上のシステムの構築に労力やお金がかかることとなるがどうか。

○委員長 市外で来ることができない方に対してのフォローということでよいか。

○副委員長 そのとおりである。

○委員長 受付の柔軟な対応について。

○副委員長 施設予約には、何日までに予約しないといけないなどの決まりがある。

○茂木委員 市外だけでなく、市内の人でもわざわざ市民体育館に行かなければならないということは、不便である。できれば、ネットでの予約ができればありがたい。

○桑原委員 この件については以前に調査を行ったと思う。

○委員長 前回の調査で、空き状況を確認できる施設は少しずつ増えたが、予約は結局窓口のままであった。

○桑原委員 このことについては調査できないのではないかな。結果が出ている。提案として質問するしかないのではないかな。既に結果が出ている。

○副委員長 改善してもらいたいので。

○桑原委員 その場合は、調査事項にはならないのではないかな。答えが出てこない。だから議会で提案するとか質問するとかしたほうがよい。

○副委員長 先程の人口減少対策の関係でこの委員会で提案していくことがよいのではないかな。

○委員長 休憩する。

(休憩 午後 1 時58分から午後 2 時01分)

○委員長 この件については、今後検討していくこととする。

私からいいか、ネーミングライツの推進について、命名権の進捗について伺いたい。

○事務局書記 それでは、まとめる。まずは「職員採用試験の応募者の状況について」、次に「通学路・通学方法の検討状況について」、次に「職業訓練校のプロポーザルの結果について」、次に「ネーミングライツの進捗状況について」ということでよろしいか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○委員長 それでは、人口減少対策に特化した調査事項について意見をいただきたいと思う。それでは、自分のほうから少し呼び水的に、一つ目は先日板橋区に災害協定の視察に行かせていただいたが、調査事項という観点から、避難前からの交流というところで、関係人口の創出について、どう検討していくのかについて。二つ目は、地域公共交通は市内をぐるぐる巡るわけであるが、都心部とのアクセスについて、公共交通として首都圏からの人の移動をどのように利根沼田に連れてくるか。地域の公共交通であり、そこだけでなくて都心部とのアクセスの向上についてどう努めていくのかについて。三つ目に関しては、

意見をいただきたいと思うが、人口が減っていくと当然税収が減っていくということが、一般論と私は考えている。財政推移を確認しながら進めていきたいのだが、以前に一般質問か何かで確認したところ、人口は減るが税収はあまり減らないという主旨の話を伺った。もしそのような話のときに、それは単純な増税か、税負担が増えてしまうという感じを受けた。その財政の裏付けというのか、人口減少に対する財政、税収減について、どんな対応を行っていくのか伺いたいと思っている。これは今までにない取組であるので、今問題でないことも出てくるかもしれないが、少し幅を持たせるというか、時間軸では幅を持たせたものでいいと思っているので、自分としては今この三つを送らせていただきたいと思っている。

人口減少対策ということであるので、一つ目二つ目は、人を連れてくることであって、それぐらいでは出生数が増えるということはないと思うが、やっておかなければいけないことだと思う。三つ目の財政については、やはりお金がなければ何もできないところもあるし、お金のないところには人が来ないと思っているので、財政について確認させてもらえればと思っている。

○桑原委員 調査事項であるから、人口減少による財政いわゆる運営ということで、調査をするというのは非常に難しいから、具体的な調査項目にしなければ、何の財政運営なのか、要するに主な収入のことを言わなければ分からない。

○委員長 この点については、これ自体が対策ではないので、抽象的になりすぎていると思うので、下げてもいいかと思う。

○桑原委員 全体的に言っていることは、よく分かるが、調査事項として、どこの課に向けて聞くのか、財政課になるのだろうが、どこが一番聞きたいところなのかが分からない。

○委員長 人口減少対策としては財政に触れないので、ここは下げておく。

○桑原委員 所管は違うが、病院運営であっても、結局人が減少していけば当然難しくなっていく。学校運営であってもそうであるから、それを課に置き換えたときに、人口が減ったとき、具体的に何ができなくなるかというところを一番調査事項として入れてもらいたい。

○委員長 例えば各課に対して人口減少でなくなりそうな事業とか、なくなりそうな公共サービスというような聞き方にするか。

○桑原委員 本当に身近なところでは、病院の運営について、所管が違うかもしれないが、提案をしてもらって、委員長会議の中で、委員長が調べてほしいというのは、OKなわけであるから、その中で今回は総務文教の中だけで考えてもらいつつ、今みたいな話があれば、うまく言ってもらえれば、ほかの常任委員長に伝えられるのが3常任委員長連絡会議であるので、本来は所管にこだわりたいが、ケースによっては経済のこともあるし、民生福祉のこともある。補足みたいになってしまうが、人口減少の影響による事案が今後間違いなく起こる。そのために、市は調べているわけであるので、そういったことを調査事項に挙げて、今後の第七次総合計画にどのように反映していくのか考える。総務文教においては、たくさんの項目があると思う。

○委員長 人口減少により、提供できなくなるサービスについてということをお願いするか。

○桑原委員 具体的に、どこのサービスのことを言っているのか分からない。消防団のこ

とを言っているのか、高齢者のことを言っているのか。

○委員長 維持できなくなるサービスとか。

○桑原委員 調査だからあまり広すぎても駄目だと思う。やはり総務文教の中での所管に関わることを調査してもらいたいということである。

○委員長 事務局長意見があるか。

○事務局長 休憩願う。

○委員長 休憩する。

(休憩 午後 2 時14分から午後 2 時37分)

(休憩中 事務局長・事務局 趣旨、スケジュール等説明)

○委員長 会議を再開する。人口減少に関することに特化したことを、こちらの用紙に沿った形で提出していただき、常任委員会で回答をもらうことになる。10月の委員会では提出された意見を精査していくということなので、人口減少対策の課題について、調査事項の収集をさせてもらいたいと思う。活発な意見の提出をよろしくお願いしたい。

今回の板橋区の件については視察へ行ったこともあるので、次につながるようにしていきたいので、板橋区の件だけは10月に報告してもらえるように、調査事項で送らせてもらうことでいいか。また、言葉は事務局と整理することでいいか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○桑原委員 先ほどの人口減少のことは、これでいいが、今説明のあった人口減少に対する書式であるが、提案としてそのほかの部分も、強制ではないが、自分も含めて、勉強して書いて、この場で出すようなやり方をしないと、この先続かないと思う。人口減少のことは初めてだから難しいかもしれないが、通常のその他の調査事項について、私が委員長をやっていたときもそうであったが、このままでは、常任委員会を開いている意味がない。皆さん質疑がないと、多分当局は、また今回も何もなかったとなってしまう。調査することがなければいいが、調査事項がないわけではない。強制ではないが、せっかくこのような雛形ができたので、この場で次の調査事項について提出するぐらいのことをやるべきである。

○委員長 先程話がでたが、9月の議会中に1回意見交換というか、調査事項の検討を月1回の委員会ではなくて、その後のところでやったほうがいいと思う。そうでないとやはり当局に説明してもらっても、質疑なしで終わってしまうので意味がないのではないかな。書類を出すだけでいいのではないかなという話になってしまう。

○桑原委員 昔の事を言ってもしょうがないが、常任委員会でなかったときは、調査事項はなく当局から報告があったのでよかったが、調査事項がなければ、10分、15分で終わってしまう。それでは議員としてうまくないと思う。

○委員長 委員会の無理のないところで、委員会ではなく意見交換会として行うこととする。よろしく願います。

それでは、板橋区については言葉を整えて、来月の10月報告で送るので、承知いただきたい。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○委員長 今後のスケジュールについて事務局説明願う。

(事務局 説明)

○委員長 説明が終わった。御承知おきいただきたい。

(5) その他

○委員長 次に、(5) その他について事務局から何かあるか。

○事務局書記 9月定例会では決算審査特別委員会となる。各常任委員会より選考委員2名を選出する必要があるので御承知おきいただきたい。

○委員長 委員から何かあるか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長 なければ以上で本日の委員会を終了する。

(午後2時45分 終了)